

台風に備えて「マイタイムライン」をつくりましょう

マイタイムラインとは

大規模災害に備えて、災害時の状況をあらかじめ想定したうえで、「いつ」「誰が」「何を」の基本的な行動などを時系列で整理し、とりまとめるものです。被害が発生することが予測しやすい台風や豪雨で特に有効とされており、過去の災害の教訓からも避難するかどうか判断するための大切な指針となるものです。タイムラインは気象状況等により変わります。今回、ご紹介するのは台風の「マイタイムライン」です。

1 避難先

避難場所に避難するだけが避難ではありません。自宅での避難や親戚・知人宅への避難も選択肢の一つです。

上の階へ逃げましょう(垂直避難)

建物(最上階)が浸水の深さより高い場合は、避難場所に避難せず、上の階へ避難することも選択肢の一つです。

- ・上の階の避難スペースを確認しておきましょう。

自宅にとどまりましょう(在宅避難)

自宅(最上階)が浸水の深さよりも高い場合は、自宅の安全な場所へ避難しましょう。

- ・非常備蓄品を確認しておきましょう。

親戚や知人宅へ早めに身を寄せましょう

親戚や知人宅への避難も選択肢の一つです。大雨や強風が吹く前に、早めに避難しましょう。

- ・避難方法などを日頃から相談しておきましょう。

避難場所へ逃げましょう(小中学校等・津波避難ビル)

最新の避難情報を確認し、早めに避難しましょう。

- ・避難先の場所や避難経路を確認しておきましょう。

浸水想定を確認

自宅の浸水想定は水害ハザードマップやマップナビおおさかで確認できます。浸水の深さによって避難先が違ってきます。

水害ハザードマップ



2 何をするか

台風や豪雨は地震と違い、気象情報などで事前に予測することができます。大雨や台風に対する事前の準備や災害の危険性が高まってきた時の対応について確認しておきましょう。

非常持出品を準備する【3日分程度(目安)】

- ・避難する際に持ち出すものです。リュック等に入れておき、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。



非常持出品



非常備蓄品を備える【7日分程度(目安)】

- ・ライフラインが止まることを考えて、1週間程度、自足するつもりで備えておきましょう。



非常備蓄品



避難するときは声かけをする

- ・災害時では隣近所での助け合いが大切です。(近助) 避難する場合は、隣近所に声をかけて一緒に避難しましょう。

3 いつ避難を開始する いつ何を

72時間前
(3日前)

【テレビで台風の進路を確認する】

※台風の中心が予報円に入る確率はおよそ70%

(自宅が予報円に入っている場合は、避難先を考えておきましょう。)

- 事前連絡(親戚・知人宅など避難先が遠方の場合)
- 非常持出品・備蓄品の確認

48時間前
(2日前)

【進路、勢力の確認】

- 避難先、避難経路の確認(必要に応じて避難)
- 停電、断水への備え

24時間前
(1日前)

【暴風域に入る時間の確認】

- 家周りの点検
- 窓ガラスの飛散防止

12時間前

【家周りや非常持出品・備蓄品の最終点検】

- 家族の行動を把握(学校、会社)

6時間前

【暴風や大雨に備え不要不急の外出は控える】

- 避難情報、避難所情報の確認

台風最接近
～通過

【安全な場所で避難】

- 大和川水位情報の確認

警戒レベル3
高齢者等避難

災害の状況: 災害のおそれあり
とるべき行動: 危険な場所から高齢者等は避難

警戒レベル4
避難指示

災害の状況: 災害のおそれ高い
とるべき行動: 危険な場所から全員避難

大和川氾濫時の浸水想定はこちら

大和川が氾濫したときは、住んでいる区域や避難を要する時間によって、避難するタイミングが違います。

大和川洪水到達時間による区域

- 区域A** 大和川が氾濫した場合に1時間未満で浸水するおそれがある地域
- 区域B** 大和川が氾濫した場合に1～3時間で浸水するおそれがある地域
- 区域C** 大和川が氾濫した場合に3時間以上経過して浸水するおそれがある地域

大和川の
氾濫対象区域



※水害ハザードマップ・大和川の氾濫対象区域などは、区役所④番窓口で配布しています。